

かほく市立高松中学校 学校便り

《校訓》「責任を果たせ 自主・協同・奉仕」

さわやか



令和7年4月9日発行

校長 塚田 秀和

□ 「共に高めあう学校をめざして」「一人一人の心がけ」

昨年はここ高松から 80Km ほど離れた場所で、元日の能登半島地震、9月の集中豪雨と予測不可能な事態が続き、「あたりまえの大切さ」を改めて感じることとなりました。校長を拝命し3年目を迎えた今年度も「あたりまえの教育活動」を粛々と進めて参ります。

さて、4月7日(月)に91名の新入生を迎え、2年生85名、3年生83名、生徒数259名、11学級で令和7年度の高松中学校がスタートしました。入学式では、緊張した中、新入生が「よろしくお願いします」の気持ちを込めた「はい」の返事がとても素敵でした。

令和7年度の学校経営ビジョンは「共に高め合う学校」です。「共に高め合う学校」の姿を、生徒が行きたくなる学校、保護者が通わせたくなる学校、教師にとっても働きがいのある学校と掲げ、本校全職員が一丸となって保護者の皆様からお預かりした大切なお子様の教育活動に取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

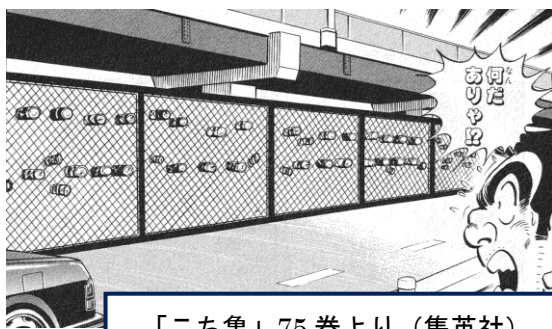
9日(水)に行われた全校集会での話です。今年度も毎月の集会では、最近のニュースや、学校生活の様子から伝えたいこと話していきます。

昨年12月の全校集会では、全校集会当日のちょうど下校時刻に、高松中学校の上空を国際宇宙ステーション(ISS)が通過する話をしました。天候にも恵まれて、その時刻には多くの人が空を見上げてくれました。多くの人が、同じ時間に、同じ場所で揃って1つのものを見ることができて、この日は、本当に嬉しかったです。

さて、今日の話は、私の好きな漫画の1つ「こちら葛飾区公園前派出所」からの話題です。主人公のお巡りさん、両津勘吉こと両さんは、金網に空き缶が刺さっているのを見つけました。それも上下二段に、きちんと整列されています。両さんは、いつも混雑しているこの金網のある道路は、ドライバーが飲み終わった空き缶を、金網に刺したのではないかと推理しました。上下に並んでいるのは、普通の自動車と、トラック等の大型の自動車の運転席の高さの違いによるものではないかと推理を進めました。さらに、「人間の心理だな」と両さんは、結論づけています。



2024.12.2 ISSを見上げた日



「こち亀」75巻より(集英社)

何もないければ、変化はないのですが、空き缶が1本あることで2本、3本と増えていった、最初の1本が問題だということです。このことは、犯罪心理学の言葉で「割れ窓理論」と呼ばれています。「他の人もやっているから構わない」と思い込むことで、罪悪感を薄れさせているということです。

そこで今月のテーマは「一人一人の心がけ」としました。この「割れ窓理論」を逆に捉えてはいかががででしょうか。教室の後ろには、昨年、創作部の皆さんが作ってくれた「伝統3項目」のポスターが掲示されています。2、3年生は、昨年の生徒総会で清掃について考えました。今年は、高松中学校が始まって

79年目になります。これまでの12,000人を超える卒業生から受け継がれているものです。その他にも、4月は、学習や生活のルールについての話があります。一人一人が、そのルールの意味を理解して行動すると、素敵な高松中学校になります。みんなが、学校へ通うのが楽しくなる学校になります。皆さん一人一人の心が、行動が、学校をより良い方向に向かわせましょう。

□ かほく市「さくら祭り」より

① 2年生「モザイクアート」の披露

昨年のF Tで2年生が制作した「モザイクアート」が披露されました。かほく市の地域（観光）について探究活動を進めたグループが、高松地区ゆかりのモザイクアートには「桜まつりの風景」が良いのではないかと考え、制作を進めました。横4m×縦3m、A4用紙91枚分の大きさです。10万箇所以上に1cm角のスタンプを押して制作されたものです。ステージでこのモザイクアートを披露した時、会場の方々から大きな拍手が沸きました。作品の紹介や苦勞したことを話してくれたのは、竹本 まこ（2の3）さん、丹羽 愛徠（2の3）さん の二人でした。



② 吹奏楽部の発表

コロナ禍が明け、桜まつりのステージが再開してから3年連続でステージを務めています。昨年より吹奏楽部員数が増えたため、ステージが狭く感じました。今年のコンクールで演奏する「アメリカン ウェイマーチ」から始まり、「ただ君に晴れ」「学園天国」「花は咲く」全4曲を披露しました。こちらも演奏が終わるたびに、来場者の方々から大きな拍手がありました。

会場付近は本校の中学生、卒業生をはじめ、多くの地域の方でにぎわっていました。演奏を聴いている人は皆、笑顔で、大きな拍手を送ってくださいました。地域に出て、日頃の成果を発表することがあることに感謝します。



□ 4月7日（月） 入学式、始業式

暖かな春の日差しの中、91名の新入生を迎え、無事に令和7年度入学式を挙行することができました。式中の「新入生呼名点呼」では、新しい制服を身にまとった1年生が、緊張もあったと思いますが大きな声で「はい」と返事を聞かせてくれました。

校長先生からは式辞の中で「しっかり学び、よく考える生徒になってほしい」と一つお願いがありました。しっかり学んで身に付けた学力は、何より自分で考え、判断する力の根拠になるからです。また、2、3年生に向けては3月の修了式に話した「それぞれ学年が上がり進歩、躍進の年にしてほしい」ことに付け加えて「成功するまでやめなければ失敗も成功の途中経過であるから、失敗を恐れずチャレンジしてほしい」と話をされました。続いて、かほく市長 油野 和一郎 様、PTA会長 山崎 優子 様から祝辞がありました。

在校生を代表して、生徒会長の 岡田 玲音 さん（3の2）が、本校伝統三項目（あいさつ、校歌、清掃）の紹介と不安なことや心配なことは先輩に頼ってほしい、一緒に最高の中学校生活をつくりあげましょう」と歓迎の言葉を述べました。続いて、櫻井 弓月 さん（1の3）が「中学校生活で経験するどんなことの中にも意味があると考え、多くのことに挑戦し、実りある中学校生活を送ります」と新入生を代表して誓いの言葉を述べました。本校PTAより贈られた入学記念品を 出井 侑里 さん（1の2）が受け取りました。

この日、それぞれの生徒が新しい1年のスタートを切りました。学校の様々な活動の中で目標を持ち、一日一日を大切に過ごしていきましょう。





新入生誓いの言葉
櫻井 弓月 さん

入学記念品授与
出井 侑里 さん

歓迎の言葉
岡田 玲音 さん

□ 4月の主な行事予定

10日(木)	1、2年生 市学力調査(国・社・数・理・英)、3年生 特別日課 1年生 部活動紹介
11日(金)	授業開始、2年生 英語スピーキングテスト、専門プログラム委員会
14日(月)	3年生全国学力調査(理科、質問紙)、部活動見学(～22日)、口座振替集金日
15日(火)	学習集会(6限)、生徒議会
16日(水)	3年生 県基礎学力調査(社・英)
17日(木)	3年生 全国学力調査(国・数)
18日(金)	短縮5限授業、部活動なし(完全下校時刻 14時50分)
23日(水)	全学年 歯科検診(午前)、3年生 県基礎学力調査(質問紙)、専門プログラム委員会
24日(木)	3年生内科検診(午後)、生徒議会
25日(金)	授業参観(5限:学級担任による授業)、学年懇談会(授業参観後)
28日(月)	避難訓練(火災想定)

※ 各学年で日程は違いますが、毎月学年所属の教員と面談する機会を設けています。
この面談は、「生徒を認めること」「(困りごとなど)学校に話ができる大人がいること」を
目的に実施しています。

□ 令和7年度 教職員紹介

校長	塚田 秀和	教頭	寺西 千洋 (体)		
1 年生		2 年生	3 年生		
1 組担任	櫻井 千明 (社)	1 組担任	猪股 啓子 (数)	学年主任 1 組担任	安原 広樹 (国)
2 組担任	清水 駿 (美・技)	2 組担任	北村 菜月 (英)	2 組担任	地藤 璃紅 (英)
学年主任 3 組担任	上谷 由喜 (英)	生徒指導主事 3 組担任	石垣 孝明 (体)	3 組担任	政近 顕純 (理)
		すみれ担任	水牧 真也	わかば担任	永山 怜渚
1 組副担任	高名智之 (数・技)	1 ・ 2 組副担任	山本 美幸 (音)	1 ・ 2 組副担任	山本 佳依 (社)
研究主任 2 組副担任	福島 栄一 (理)	学年主任 3 組・すみれ副担任	糺元 桜児 (英)	教務主任 3 組・わかば副担任	渡邊 聡 (数)
3 組副担任	瀧本アンナ (国)			数学科少人数	山口 健一 (数)
養護教諭	橋本 理恵	事務職員	吉藤 真由美	ALT	ザング・ドゥ・グレース
学務員	宮寄 稔久	図書館司書	澤野 奈美子	教育相談員	今井 伸戸
特別支援教育支援員	能口 可苗	スクールサポートスタッフ	南 文音	学校コーディネーター	加藤 寛子
スクールカウンセラー	古市 俊郎	部活動指導員 (陸上)	須加 敬夫	部活動指導員 (吹奏楽)	岡田 正

※ ゴシック体は4月より転入した職員

□ 令和7年度 部活動顧問のお知らせ

部活動名	顧問名	部活動名	顧問名
野球	福島	ソフトボール	石垣
ソフトテニス	渡邊・上谷	バドミントン	山本佳・永山・糀元
卓球	政近・高名	吹奏楽	瀧本・山本美・岡田※
陸上競技	安原・北村・須加※	創作	清水・櫻井
剣道	水牧・猪股	水泳競技	地藤

※ 部活動指導員

□ 「校内教育支援センター (SSR)」のお知らせ

かほく市では、令和6年4月1日からすべての小・中学校に、「教室に入れない児童生徒が、安心して落ち着ける場所を確保し、自分に合ったペースで学習・生活できる『校内教育支援センター』」を設置しています。本校では昨年度より「R組」を設置し、これまで同様にお子様の状況に応じて対応してまいります。

「R組」の役割

- ・学校へ登校と、給食を食べることを通して、生活リズムの改善
- ・支援員、学年職員等とのコミュニケーションを通して、集団生活への適応を支援
- ・本人のペースに合わせた学習支援、学校行事等への参加

「R組」の利用

- ・通室にあたっては、本人、保護者、学級担任、支援員で面談を行い、「R組」での過ごし方のルールや、目標を確認した上で利用できる。(生徒自身の判断だけで、利用はできません。)

「R組」の名称の由来

- ・Relief: 安心、Relationship: つながり、self-Reliance: 自立 という、「R組」がめざす3つの“R”から名前をつけました。

お子様の状況に応じて、学校のできる範囲（設備の有無、教職員の配置等）で柔軟に対応していきます。ご希望やご質問等がございましたら、遠慮せず学校まで連絡ください。(高松中学校 TEL 281-0221)

□ お知らせ

① 授業参観、PTA総会について

- ・4月25日(金)5限に、授業参観を実施します。授業参観後には全学年で学年PTAを開催します。詳細は後日、お知らせいたします。ぜひ、ご参加ください。
- ・PTA総会は、昨年同様、web決議の形で実施します。

② 学校への来校、連絡電話について

- ・学校への来校・電話連絡の時間帯を、午後7時00分までにお願いします。
- ・午後7時00分から翌朝7時30分の間、留守番電話に切り替わります。
(授業日、部活動実施日以外の日は、午後4時30分から翌朝8時00分の間、留守番電話に切り替わります。)
- ・土、日、祝日、学校閉庁期間は、終日、留守番電話になります。
- ・留守番電話となっている際の緊急連絡は、かほく市学校教育課(283-7136)へお願いします。

□ ホームページにおいて、学校の様子をお知らせしています。

ホームページでも、学校の様子を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/takamj>

